

平成30年度第2回会議におけるご意見への対応

	出された意見	対応状況	担当課
①	同じ60歳でも地区ごとに歯周病を有する者の割合が大きく違うのは面白い。 〈田口委員〉	今後も地区分析を継続し、地区住民との情報共有を図り、主体的な取組につなげる。	健康増進課
②	包括支援センターや地域のサロンに向く際、ちらし配布や健診のアピールはできる。 〈猿山委員〉	長寿包括ケア課と検討をしたが、サロン参加者は、健診対象外の方が多い。別の効果的な受診勧奨方法を検討する。	健康増進課
③	子宮内膜症も、歯周病と同じように慢性疾患であり、手の平サイズの病原菌があると、全身に菌が回っているといわれている。 〈道下委員〉	歯周病と全身の健康の関連については健康教育やイベントの際も、継続的に周知を行う。	健康増進課